

2019年3月期 連結業績概要

常務執行役員
山西 哲司

2019年3月期 通期決算のポイント

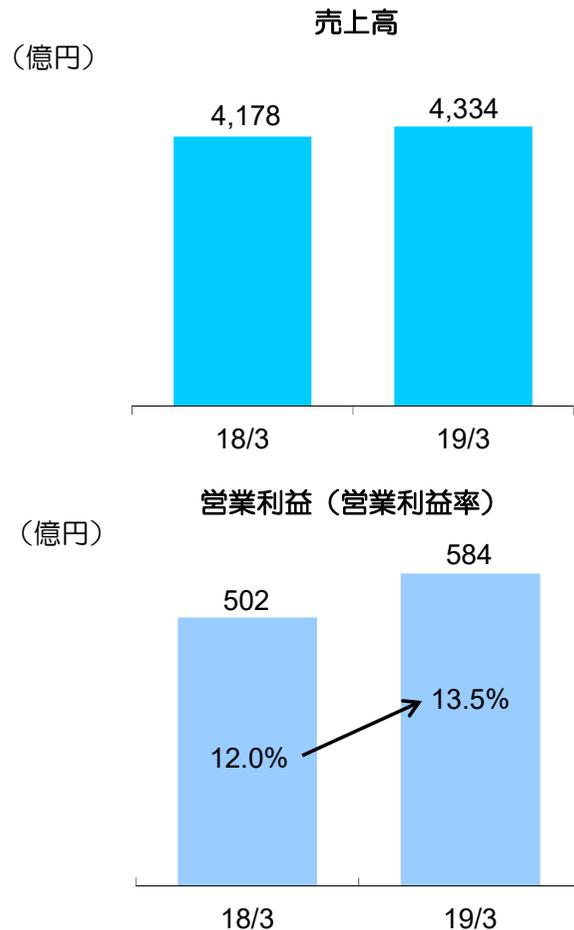
- 売上高、営業利益、税引前利益、当期純利益が過去最高を更新*
 - 売上高は前期比8.7%増、営業利益は20.2%増、営業利益が1,000億円台に*
- 下半期は中国経済減速の影響を受けるも、通期で前期比増収増益を確保。
- 二次電池がモバイル用途（スマートフォン、タブレット、ノートPC）に加え、非モバイル用途の販売も増加し全社収益拡大に寄与。
- 自動車市場向けにセラミックコンデンサの販売が好調に推移し、受動部品の収益基盤を底上げ。
- HDDヘッド、HDDサスペンションは出荷数量が前期比減少するも、データセンター向け高付加価値製品の出荷割合が増加し、前期比増益を確保。
- センサ、磁石の収益改善に遅れ。

*利益は2017年3月期計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2019年3月期 連結業績概要

(億円)	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	12,717	13,818	1,101	8.7
営業利益	897	1,078	181	20.2
営業利益率	7.1%	7.8%	+0.7 pt	-
税引前利益	898	1,156	258	28.7
当期純利益	635	822	187	29.4
1株当たり利益 (円)	502.80	651.02	-	-
為替	対ドルレート (円)	110.93	110.94	-
	対ユーロレート (円)	129.64	128.48	0.9%の円高
為替変動による 影響金額	売上高：約50億円の減収 営業利益：約6億円の増益			

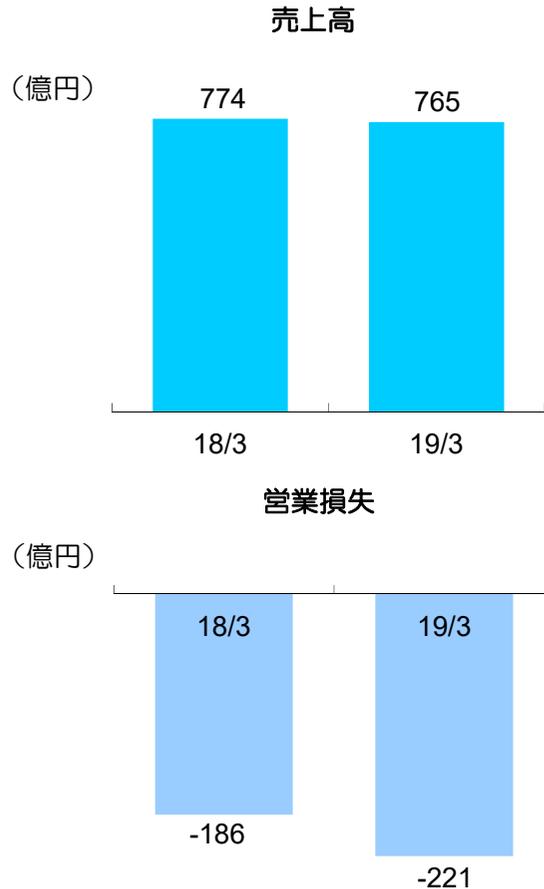
2019年3月期 各事業の状況（受動部品事業）



売上高 4,334億円（前期比3.7%増）
営業利益 584億円（前期比16.3%増）

- セラミックコンデンサ
 - 前期比で増収増益。
 - 自動車市場向け需要が堅調に推移し販売が増加。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - 売上は前期と同水準を維持し、収益性は改善。
- インダクティブデバイス
 - 売上は前期比で増加。
 - 自動車市場及びICT市場向け販売が増加。産業機器市場向け販売は減少。
- 高周波部品
 - 売上は前期比で増加。
 - ICT市場向けの販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - 前期比で減収減益。
 - 自動車市場及びICT市場向け販売が減少。産業機器市場向け販売は増加。

2019年3月期 各事業の状況（センサ応用製品事業）

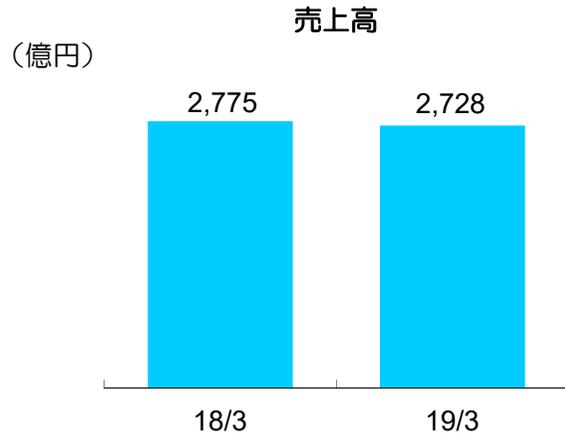


売上高 765億円（前期比1.2%減）
営業損失 △221億円（前期比一%増）

- センサ

- 温度・圧力センサは、自動車市場向け販売が伸び前期比で増収。
- 磁気センサは、自動車市場及びICT市場向け販売が伸び増収。
- MEMSセンサは、ICT市場向けの販売が落ち込み減収減益。

2019年3月期 各事業の状況（磁気応用製品事業）



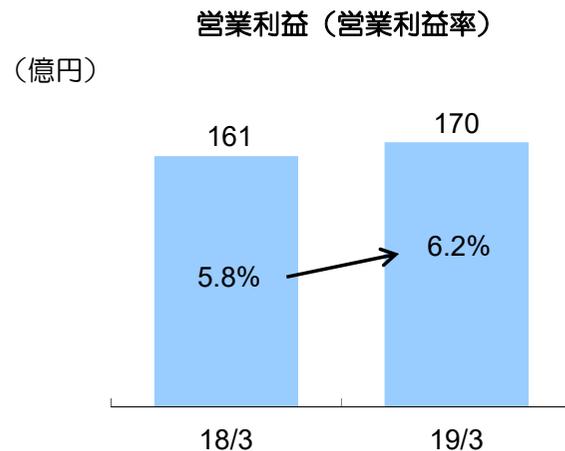
売上高 2,728億円（前期比1.7%減）
営業利益 170億円（前期比5.6%増）

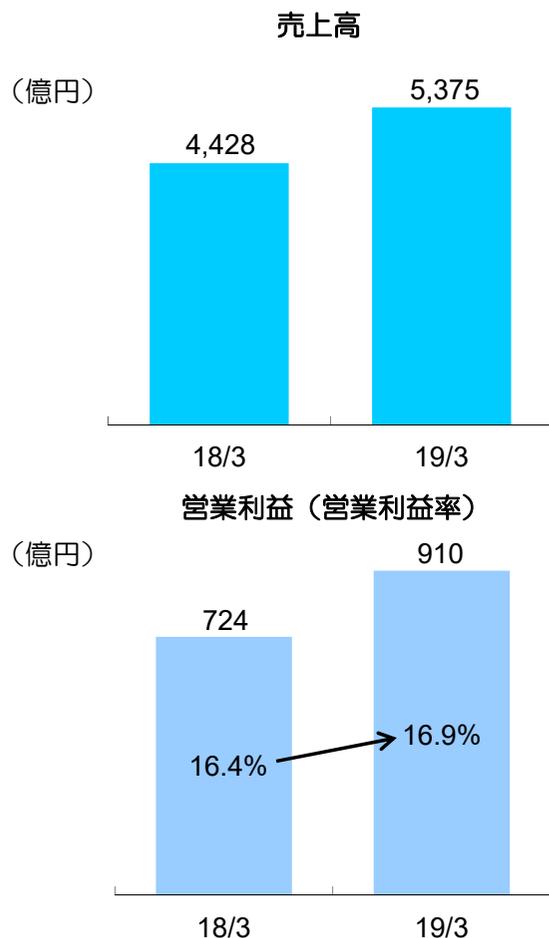
- HDDヘッド・HDDサスペンション

- ↳ 売上は前期と同水準を維持し、利益は増加。
- ↳ HDDヘッド及びHDDサスペンションの製品ミックス良化、さらにサスペンション応用製品（微細金属加工部品）の収益性改善により増益。

- マグネット

- ↳ 前期比で減収減益。
- ↳ 風力発電向け、産業機器向けの売上が減少。
- ↳ 第2四半期に減損を計上。





売上高 5,375億円（前期比21.4%増）
営業利益 910億円（前期比25.7%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
 - ↳ 前期比で増収増益。
 - ↳ モバイル用途（スマートフォン、タブレット、ノートPC）向けの販売が好調に推移。
 - ↳ 非モバイル用途の新規アプリケーション向けの販売も拡大。
- 電源
 - ↳ 産業機器用電源は、前期と同水準で推移。
 - ↳ EV電源は増収減益。

営業利益増減分析

2018年3月期
897億円

営業利益 +181億円

2019年3月期
1,078億円

(単位：億円)

売上による
利益変動
+394

売価値引き
▲191

合理化
コストダウン
+215

構造改革効果
+14

販売費及び
一般管理費増
▲265

減損損失
▲47

M&A関連
一時費用
+55

為替変動
(US\$=Yen 110.94)
+6

897

1,078

2019年3月期 セグメント別四半期実績

Attracting Tomorrow



(億円)		2018年3月期 第4四半期 (A)	2019年3月期 第3四半期 (B)	2019年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	414	427	423	9	2.2	△ 4	△ 0.9
	インダクティブデバイス	392	395	362	△ 30	△ 7.7	△ 33	△ 8.4
	その他受動部品	253	245	234	△ 19	△ 7.5	△ 11	△ 4.5
	受動部品合計	1,059	1,067	1,019	△ 40	△ 3.8	△ 48	△ 4.5
	センサ応用製品合計	193	197	173	△ 20	△ 10.4	△ 24	△ 12.2
	磁気応用製品合計	669	664	605	△ 64	△ 9.6	△ 59	△ 8.9
	エネルギー応用製品合計	1,004	1,454	1,118	114	11.4	△ 336	△ 23.1
	その他	146	126	176	30	20.5	50	39.7
	合計	3,071	3,508	3,091	20	0.7	△ 417	△ 11.9
営業利益	受動部品	136	147	133	△ 3	△ 2.2	△ 14	△ 9.5
	センサ応用製品	△ 46	△ 55	△ 72	△ 26	-	△ 17	-
	磁気応用製品	6	78	48	42	700.0	△ 30	△ 38.5
	エネルギー応用製品	130	246	121	△ 9	△ 6.9	△ 125	△ 50.8
	その他	△ 18	△ 12	△ 28	△ 10	-	△ 16	-
	小計	208	405	203	△ 5	△ 2.4	△ 202	△ 49.9
	全社および消去	△ 88	△ 77	△ 74	14	-	3	-
	合計	120	328	129	9	7.5	△ 199	△ 60.7
営業利益率		3.9%	9.4%	4.2%	+0.3pt	-	-5.2pt	-
為替	対ドルレート (円)	108.49	112.90	110.23				
	対ユーロレート (円)	133.25	128.87	125.18				

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載いたします。
https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir_events/conference/2019/4q_1.htm